

各位



営業部

ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE® 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)変異株(オミクロン株)に対する効果を確認

株式会社ナック・エアシステム(本社：大阪市東成区、代表取締役 山本栄治)は、当社の【ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®】が新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)変異株(オミクロン株)を用いた抗ウイルス性試験を実施した結果、抗ウイルス効果があることを確認しましたので、お知らせいたします。

一般財団法人日本繊維製品品質技術センター(QTEC)において、当社の【ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®】について、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)変異株(オミクロン株)を用いて抗ウイルス性試験を実施した結果、抗ウイルス活性値が【3.0以上】、つまり製品上の新型コロナウイルスの数が【99.9%以上減少】することが確認されました。

ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®は、空気中の酸素を利用して高効率で酸化還元反応を触媒し、抗ウイルス・抗菌・消臭等の優れた機能を発揮する多機能型触媒加工フィルターです。

【参考：抗ウイルス活性値 3.3＝製品上のコロナウイルスの数が99.9%減少】

1.試験概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 試験機関 | ： 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター(QTEC) |
| (2) 試験方法 | ： JIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法 準用 |
| (3) 試験ウイルス | ： Severe acute respiratory syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
変異株(オミクロン株)；hCoV-19/Japan/TY38-873/2021 |
| (4) 宿主細胞 | ： VeroE6/TMPRSS2 JCRB1819 |
| (5) 試験素材 | ： ハイブリッド触媒加工フィルターNEO・ZONE® |
| (6) 試験条件 | ： 25℃、 2時間 |
| (7) 感染価測定法 | ： プラーク測定法 |
| (8) 試験結果 | ： 抗ウイルス活性値 3.3 以上 (ウイルス減少率 99.9%以上) |

2. ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®の抗ウイルス作用について

ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®の表面にウイルスが触れるとハイブリッド触媒®の酸化還元作用によってウイルス膜やウイルスタンパク質の変性を引き起こし、製品上のウイルスの数が減少していると考えられます。

3. 抗菌・抗ウイルス性

抗菌性　：　製品上の特定の細菌の増殖を抑制します。

抗ウイルス性　：　製品上の特定のウイルスの数を減少させます。

※抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的としたものではありません。

※抗ウイルス加工は、空気中のウイルスの働きを抑制するものではありません。

※抗ウイルス試験は、ウイルス株を25℃で2時間放置して実施しています。

4. 安全性

使用している加工剤は、急性経口毒性試験、復帰突然変異試験、染色体異常試験、皮膚刺激性試験、皮膚感作性試験、皮膚貼付試験（ヒトパッチテスト）等の安全性試験の評価基準に適合しています。

5. なお、本ニュースリリースは、実施した試験内容及び結果の事実をお知らせするものです。

ハイブリッド触媒®加工フィルターNEO・ZONE®は、病気の治療や予防を目的として設置するものではなく、本試験は、あくまでも試験対象の製品上のウイルスの数が減少したことを示すものです。また新型コロナウイルスの人への感染予防効果等を示す試験ではありませんので、ご注意ください。

